



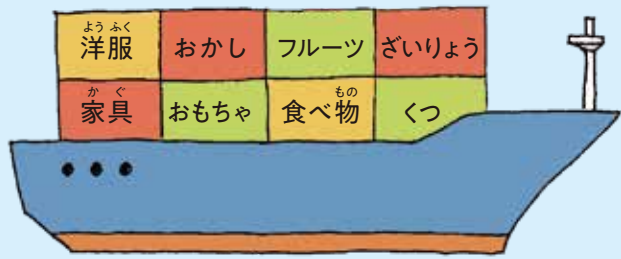
うみ
海のお仕事を
もっと**知ろう**

こうべ
神戸



海にかかわる仕事がいっぱい

毎日の生活にひつようなものを船でとどけてくれる人たち、
 食卓しょくたくにならぶ魚をとってくれる人たち、海
 水浴場よくじょうや水族館すいぞくかんでの楽しい時間をつくってくれる
 人たち。わたしたちのくらしは、海にかかわる仕事と
 たくさんのつながりがあります。海にかかわる仕事って、
 一体どんなことをするのでしょうか。もっとくわしく見て
 いきましょう。



さがしてみよう

1~2ページのイラストは、海にかかわる仕事の一部をえがいたものです。ここにえがかれていないけれど、あなたが知っている海にかかわる仕事があったら、かきこんでいきましょう。



海に深くかかわるわたしたちのくらし

海の大切さをみんなで考える取り組みがおこなわれています。

1 日本財団「海と日本PROJECT」

わたしたちの、くらしをささえ、ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきをあたえてくれる海。日本財団「海と日本PROJECT」では、海で進行しているかんきょう悪化などのげんじょうを、多くの人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引きつぐアクションのわを広げていく活動を進めています。

海と日本PROJECT



2 海の仕事を体けん!

神戸市には、海にかかわる多くの仕事があります。地いきをささえる仕事を知ってもらうため日本財団「海と日本PROJECT」では、海のお仕事たいけん「こどもわーく」というイベントをおうえんしており、さまざまな海の仕事を小学生が体けんしています。



1

海や川の生き物にきょうみをもってもらうよ 水族館の飼育員



神戸須磨シーワールド
開業準備室

国本 亜紀さん

(2024年6月に神戸須磨シーワールドとして開業)

お客様の
生き物へのかんしんを
引き出したい

魚たちをけんこうに育てます

魚たちをけんこうに育てて、その様子をお客さまに見てもらおう仕事です。毎朝、元気かどうかをかくにんしたらえさやりやそうじ、水のこうかんなどをします。大きな水そうはもぐってそうじをするので、飼育員はみんな、潜水士のしかくをとります。

かんさつが大切です

魚の病気はあっという間に広がります。魚をしっかりとかんさつし、小さなへんかを見落とさないことが大切です。

もっと知りたい!

お客さまのはんのうがやりがい

地道でくり返し作業が多いですが、大らかな魚たちにかかわることができて楽しいです。お客さまが、きょうみをもってくれるとうれしくなります。

いろいろな教科が役立っています

水そうの中をどう見せるかを考えたり、魚を説明する文章を書いたり、薬のりょうを計算したり、小学校で勉強したことが役に立っています。

どうやってなったの?

小さいころは、用水路や川で魚をとることにねちゅうしていました。中学生の時にびょうしになるうと思いましたが、やはり生き物にかかわる仕事したいと、高校をそつぎょうした後、せんもん学校へ。そこでとくに「魚がすき」だと気づき、水族館へしゅうしょくしました。

くふうがいっぱい!

さずつきやすい赤ちゃんクラゲを安全にいどうさせるために、料理用のお玉を使っています。

せいしょうに合わせて、
お玉の大きさを
かえます



チェック!

※2024年6月に 新しい水族館としてオープンします

神戸須磨シーワールド開業準備室では、須磨海浜水族園でてんじされた生物のうち、522種17,000点の飼育をつづけています。2024年6月にオープンした後は、西日本ではここでしか見られないシャチやその他のめずらしい生物もてんじするよていです。

2

海水浴場などの安全をチームで守っているよ ライフセーバー



海で楽しく遊んで
事故なく帰ってもらう
ために

NPO法人
神戸ライフセービングクラブ

小崎 遼介さん

もっと知りたい!

海の様子をかんさつします

事故をふせぐためには海の様子を知ることも大切です。活動する日は1日に何度も海にもぐって、海水の温度やしおの流れなどを調べます。

多様なメンバーがみりよくです

社会人、学生、子育て中のママなど、いろいろな人がボランティアで活動しています。力を合わせて事故なく夏を終えられた時にやりがいを感じます。

どうやってなったの?

ほいくしを目指して勉強していた大学2年生の時に知人にさそわれ、ほいく所・ようち園での「事故なく子どもが楽しく遊べるかんきょうづくり」に役立つと思ひ、なろうと決めました。ライフセーバーとして活動するにはしけんにごうかくし、しかくをとることがひつようです。

海での事故をふせぎます

海での事故をふせぐことが一番の役目です。海水浴場に来た人が安全にすごしているかをかくにんしたり、おぼれている人がいたら助けたりします。海で行われるスポーツの大会で、出場者の安全を見守ることもあります。

チームで活動します

海水浴場では多い時は30人くらいのメンバーが活動し、気になることを共有します。事故をふせぐため、気をつけてほしいことがあれば、遊びに来た人にちよくせつたえます。



救命道具を、
仕事の前に
かくにんします

「こういうことが
おこるかも」と考えて
見守っています



仕事道具はこれ!

ゴーグルや笛のほか、日ざしをふせぐサングラスもかかせません。救助用のチューブは、人にまきつけると、うき輪になります。

赤色の細長い物が
救助用のレスキュー
チューブです



チェック!

3

海のめぐみを地いきの人にとどけているよ

りょう し 漁師



海の未来を
考えながら
行動しています

すまうら水産有限責任事業組合 若林 良さん

もっと知りたい!

仕事の時間はいろいろです

漁のときは午前1時に海に出ます。のりを育てるときは作業によって午前4時から夕方までのときや、昼に仕事が終わることもあります。

海のかんきょうも考えます

昔にくらべ魚の数がへっており、地球温暖化も問題です。海のかんきょうをよくする方法を考えたり新しい魚を育てることに挑戦したりしています。

どうやってなったの?

大学生のときにアルバイト先で今の親方に出会い、漁業の未来を考えるすがたにあがれて漁師になりました。親方の下で作業をおぼえ、神戸市漁業協同組合の正組合員になると一人前の漁師としてみとめられます。小さいころから水泳がとくいです。

春から秋は漁、冬はのり

須磨区の海で、春から秋はカレイやヒラメ、キジハタなどの魚をとり、冬はのりを育てています。わたしの地いきでは、漁師が協力して1つの工場をつくって動かし、のりをかんそうさせるところまでをおこなっています。

知しき、けいけんが大切です

海のじょうきょうは毎日かわるので、海や船の知しき、けいけんがとても大切です。1人で漁に出ることが多いので、船の調子が悪くなくても自分でなんとかしないとイケません。



のりを
たねから
海で育てます



須磨海岸で
地いきの人と交流する
イベントも開いています

仕事場をしょうかい!

須磨の海の名物はのりです。12月からは朝、海でとった生ののりを、24時間工場を動かしてかんそうさせます。

大きなきかいを
漁師が
そうさします



チェック!

4

漁師さんと魚を売るお店の間をつなぐよ

なか おろし 仲卸



みんなの食卓に
おいしい魚を
とどけるために

株式会社 丸由水産 中島 とき子さん

もっと知りたい!

人との会話が早い仕事です

注文やしつもんにご答えることが多く、「えがおで感じよく」を心がけています。80才をこえた今も元気にはたらいしています。

魚のほぞんから調理、配たつまで

しんせんなじょうたいの魚をとどけることに一番気をつかいます。飲食店用に魚を三まいおろしにしたり配たつをしたりする社員もいます。

どうやってなったの?

けっこんしてこの仕事を始めました。それまではお花の先生をしており、仲卸という仕事は知りませんでした。小学生のときは楽ざいしを目指していたので、算数をがんばっていました。売れた魚のねだんと数を記ろくするでんぴょうを早く作るのに役立っています。

市場の中に仕事場があります

日本全国の海でとれた魚が集まる神戸市中央卸売市場の中に、仕事場があります。毎朝、「せり」で魚を仕入れて、注文のあったスーパーや魚屋さん、飲食店へ売ります。 ※「せり」…仲卸をしている人たちが、市場にとどいた魚にねだんをつけて、一番高いねだんをつけた人がほしい魚を買うこと。

太陽がのぼる前に起きます

午前3時30分に仕事場にきて、注文を整理してから「せり」にさんかします。その後はお客さまに魚を売ったり、お金の計算をしたりして、午後2時ごろに家に帰ります。



お客さまから
注文があった魚を
箱につめます



魚のねだんは
毎日かわるので、
集中して計算します

挑戦しました!

「せり」にさんかして魚を買うには、めんきょがひつようです。わたしは、60才のときにしけんを受かってとりました。

「せり」では手で
ねだんを表します。
この形は「8」



チェック!

5

外国との物のやりとりをスムーズに進めます つう かん し 通関士



株式会社 上組 **植原 菜穂さん**

通関士だけが作れる書いんです

外国との物のやりとりにはかならず関税という税金がかかります。関税がいくらになるのかを書いので正しく国のきかん(税関)につたえないと、物のやりとりはゆるされません。通関士だけがこの書いを作れます。

広い知しきがひつようです

品物の関税がいくらになるかは、化学薬品の成分、食べ物のつくりかた、ほうりつなどいろいろなことを調べないと分かりません。むずかしい書いがかんせいしたとき、うれしいです。

もっと知りたい!

一つも見落とせません

一つの数字などの見落としが、大きなまちがいに繋がります。集中して仕事をするため、ねぶそくなどに気をつけています。

はんざいをふせぐ役わりも

書いを作りながら、品物が外国や日本に持ちこんではいけないものではないか、関税をわざとひくくしようとしていないかもかかんにんします。

どうやってなったの?

外国との物のやりとりにかかわり、えい語を使え、こつこつできる点がわたしに合うと思えらびました。しげんにごうかくし、国がみとめるしかくをとるひつようがあります。小さいときから小さなミスで100点をとれないことがよく、それで集中力が身につきました。



毎日、
かけ算と足し算を
たくさんします



仕事で読む書い
ほとんどが
えい語です

仕事道具はこれ!

関税について書かれた本、ほうりつの本、電
たかなくてはならない仕事道具です。これ
を使ってたくさん書いを作ります。

べんもろ
勉強しないと
いけないことが
たくさんあります



チェック!

6

船で荷物を運ぶときの計画をたてます コンテナ船プランナー



商船港運株式会社 **二井見 達也さん**

コンテナのじゅん番を決めます

船で運ぶ荷物を入れる金ぞくの箱「コンテナ」を、つんだりおろしたりするじゅん番を決めて計画書(プラン)を作ります。時間内に安全に作業が終わるように考えます。

気をつけることがたくさん

船のかたがわばかりにコンテナをつむと船がかたむいてしまうので、おく場所や荷物の重さに気をつけます。また、コンテナが集まる場所(コンテナヤード)は広いので、きかいで動かす人がたいへんではないかも考えます。

もっと知りたい!

えい語をよく使います

外国から来る船が多いので、船員さんとよく、えい語で打ち合わせや電話をします。えい会話はこの仕事を始めてから勉強しました。

「大きな仕事」を実感します

マンションの10階より高い所まではしごで船を上り、コンテナをつみおろしする様子をかかんにんすることもあります。きぼの大きな仕事だなと感じます。

どうやってなったの?

しゅうしょく活動をしていたとき、会社の屋上からコンテナヤードを見て「かっこいい」と感動し、この会社ではたらきたいと思いました。小学校から大学までチームスポーツをしていたことが、いろいろな人とコミュニケーションをとって仕事を進めることに生きています。



仕事場には
大きな船やきかいが
あります



プラン通り
作業ができていますか
かかんにんします

コンテナをしょうかい!

コンテナは荷物が入っていないじょうたいで、2~4トンの重さがある大きなものです。それを1万こもつめる大きな船もあります。

くらしにひつような
ものがコンテナで
運ばれています



チェック!

7

船ではたらく人たちのリーダーだよ 船長



みやまき 宮崎カーフェリー株式会社 岸本 力さん

大事なはんだんをします
野菜や肉、きかいの部品やトラック、仕事や旅行に行く人をのせて神戸と宮崎県を行き来する船(フェリー)のリーダーです。船の中での大事なことは全て船長が決めます。

きけんな場所でそうさします
ふだん船を動かすのは部下ですが、注意がひつような場所では、船長が船の動かし方を決めます。夜に出発し、次の日の朝、もくてきの港に着きます。20日間つづけてはたらいた後、10日間つづけて休みます。

もっと知りたい!

チームワークづくりも大切です

船にはいろいろな仕事をする人がいます。一人一人の様子を気にして声をかけ、仕事しやすいふんいきを作るのも船長の役目です。



たくさんの人のくらしをささえる船です

すてきな場面がたくさんあります

もくてきの港へぶじに着いたとき、とてもまんぞくした気持ちになります。また、船から見る星空や朝日、夕日は本当にきれいです。



ほかの船とぶつからないよう、まわりをよく見ます

どうやってなったの?

子どものころから乗り物が好きで、小学生のときにじこく表を調べて電車の旅に出かけたこともあり。りくからはなれた海ではたらくことにあこがれ、海について勉強する大学に進んだ後、しけんにごうかくし、けいけんをつんで船長になりました。

知ってびっくり!

仕事用の服のかたやそでに、役わりを表すしるしがついています。線が4本だと船長を表します。

日本だけでなく、世界きょうつうのしるしです



チェック!

機関長を表すしるしも線が4本ですが、金色の線の間にむらさき色の線が入ります。

8

船を動かすきかいをこしょうから守るよ 機関長



かぶしきがいしゃ セブンスーズ クルーザー 株式会社 SEVENSEAS CRUISER 福島 弘人さん

船のきかいはまかせて!

船は、いろいろなきかいのはたらきで海を進むことができます。これらのきかいがこしょうないように、点けんやしゅうり、かくにんをする仕事場のリーダーをしています。

毎日きかいをさわる仕事です

小さなごみがこしょうのげんいんになることがあるので、毎日きかいをそうじします。ねじがゆるんでいないか、油がもれていないかなどもかくにんします。きかいをばらばらにして点けんすることもあります。

もっと知りたい!

お医者さんのような気持ちです

きかいは話せないで、具合の悪い所を人が見つけないといけません。問題なく船が動いていることが、一番うれしいことです。



船にある全てのきかいの様子をかくにんします

船でかいてきにすごせるように

わたしがはたらく「THE KOBE CRUISE」は、お客さんが食事を楽しむ船です。れいぞうこなどにひつような電気の点けんもおこないます。

きかいのねつで夏は部屋の温度が50度近くになります



どうやってなったの?

子どものころは海が身近な遊び場でした。また、きかいをさわるのが好きで、いつも「どうしてこうなるのだろう」という気持ちを持っていました。海について勉強する高校に入った後、しけんにごうかくしてしかくをとり、船でけいけんをつんで機関長になりました。

仕事道具はこれ!

いつも持っているライトで、きかいの中までよくかくにんします。一つのきかいの点けんに1~2時間かかることもあります。

「なんだろう」と思う気持ちが大切です



チェック!

9

どんな船をつくるかを図にまとめているよ 設計士



かんきょうと未来を
よくしたいという
思いを持って

川崎重工業株式会社

沖見 優衣さん

もっと知りたい!

ちょうせんをたくさんします

新しいエネルギーの一つ水素を、えき体でたくさん運ぶ船を設計しています。世界ではじめての船なので、答えがないことも考えます。

えい語をべんきょうしています

船をつくるときのきまりはえい語で書かれていることが多いので、えい語の文章をよく読みます。えい語の勉強はずっとつづけています。

どうやってなったの?

小さいときから、工作が好きな父のそばでいっしょに遊んでいました。小学校、中学校の理科のじゅ業に実けんが多く、おもしろいと思うようになりました。世界につながる大きなものをつくる仕事をしたいと考え、大学で船づくりを学び、この会社に入りました。

お客さまのきぼうを形にするために

「何をどれくらい運びたいか」というお客さまのきぼうを聞き、船の大きさや形、運ぶもののようななどを決めます。これらをまとめた図(設計図)を、大ぜいの設計士で作ります。

かんせいまで何年もかかります

設計士は、船の形、荷物をつんだりおろしたりするためのきかい、船を走らせるためのきかい、電気にかんするきかいについて考える、いくつかのグループに分かれています。すべてのグループが協力して仕事を進めます。



パソコンの作業が
中心です



小さなことも
打ち合わせで
かくにんします

これがべんり!

昔は手で図をかいていましたが、今はパソコンを使います。3Dなので「この場所のうらがわはこうなんだ」とすぐ分かります。

新しいぎじゅつを
取り入れています



チェック!

10

鉄から部品をつくって船にするよ 造船所の工場長



小さな部品から
大きな船ができます

金川造船株式会社

岩本 純一さん

もっと知りたい!

タグボートづくりがとくいです

港の中で大きな船を動かすタグボートという船をつくるのがとくいです。新しいぎじゅつを取り入れて、地球かんきょうを考えた船もつくっています。

一つの作業を何日もつづけます

時間がかかることでもあきらめずにつづけられる人が、この仕事に向いています。小さな鉄を曲げるのに、5日かかることもあります。

どうやってなったの?

小さいときからものをつくることにきょうみがあり、「どうやって動くのだろう」と、買ってもらったばかりのプラモデルを分かいしたこともあります。高校でもものをつくることを勉強し、この会社に入りました。かんせいした船がはじめて海にうかぶときは、いつも感動します。

部品から自分たちでつくります

鉄から部品をつくり、それをつなぎ合わせて船の形にした後、エンジンなどをのせ、水道や電気の工事をし、船に色をぬってかんせいさせるまでが仕事です。安全に作業できているかをかくにんするのが工場長の役目です。

次に作業する人を考えながら

20以上の作業に分かれ、何百人もの社員が一つの船をつくります。作業がうまく進むよう、自分がつくった物が次の作業をする人に使いやすくできたかを考えることが大切です。



社員の成長した
すがたを見ると
うれしいです



鉄を曲げるのに
細かな手の動きが
大切です

仕事道具はこれ!

せいかな部品をつくるため、長さやあつみ、角度などを何度もはかります。そのための道具をいつもポケットに入れてあります。

上から
まきじゃく(メジャー)、
ようせつゲージ、物さし



チェック!

きゅうじよ せいり あんぜん まも
 救助や船の交通整理で海の安全を守るよ
 かいじょう ほ あん かん
海上保安官



こまっている船が
 いないか
 海を見回ります

神戸海上保安部 森口 允太さん

もっと知りたい!

あきらめない気持ちをいつも

海の上はつねにきけんです。助けを待つ人、自分、仲間がぶじであるために、いつも「何があってもなんとかする」という気持ちを持っています。

安全のためのじゅんぴがいっぱい

安全に船を動かすために、もくてき地に何分で行くか、ねんりょうが足りるか、どの時間にどこを通るかを計算し、計画を立ててから出港します。

どうやってなったの?

子どものころから海でよく遊び、海にかかわる人のやくに立つ仕事をしたいと思っていました。中学生のときにこの仕事を知り、東日本大震災での救助活動を見て「これしかない」と思いました。海上保安官になるためには、海上保安学校などに入学することがひつようです。

海、空、陸上がしょく場です

海上保安官は海(船)、空(航空機)、陸上(仕事場)で、私は船ではたらいています。自分たちで船を動かして、海でおきた事故で人を助けたりほうりつを守っていない船をつかまえたり船の火事を消火したりします。

交通整理も大切な仕事です

淡路島と神戸・明石の間の「明石海峡」は、物を運ぶ船や漁をする船などたくさんの船が通る場所です。船どうしがぶつからないよう、電光けいじ板やマイクで注意をよびかけます。



大きな船が近づいていることをつたえます



海の地図(海図)と定ぎを使って計算しています

潜水士としても活やく!

海上保安官になった後、とくべつな訓練をし、えらばれて潜水士になりました。たいへんですがやりがいを感じます。

毎日、船の中でトレーニングもします



チェック!

小澤先生の
 水中ロボットの
 ここがすごい

- 電波が通じない水中でロボットに命れいをつたえられる
- 海の中に入れてもロボットの心ぞう部分(電気回路)は水にぬれない
- 水の中であかずに物にしっかりくっつける

神戸市立工業高等専門学校
 小澤 正宜さん



研究をするほか、ロボットの仕組みなどをせいとに教えています。手を動かして何かをつくり出すことが、もつとすきになる学校です。



こんな学校です

水中で人のように
 はたらけるロボットを

島国の日本には、橋や港など、海につくられたものがたくさんあります。こわれたところがないかは人がもぐって点検しますが、海の中なのできけんなこともあります。そこで、水中での作業を人のかわりにできるロボット(水中ロボット)を作っています。

海のここといろいろ
研究しているよ!

教科書にのる発見をするために

森や草原のように生き物のすみかになる海の植物「海そう」を調べています。海そうを集めたり、かんさつしたり、海そうの赤ちゃんを育ててじっけんをしたり、いでんしを調べたりいろいろなことをします。まだだれも分からないことで、自分が「知りたい」ことをかいけつする方法をみつめています。

海での研究の道具がいっぱい



研究のための大学のたて物が、淡路島の海のそばにあります。時にはそこで、海の中にもぐって生き物をさがすこともあります。

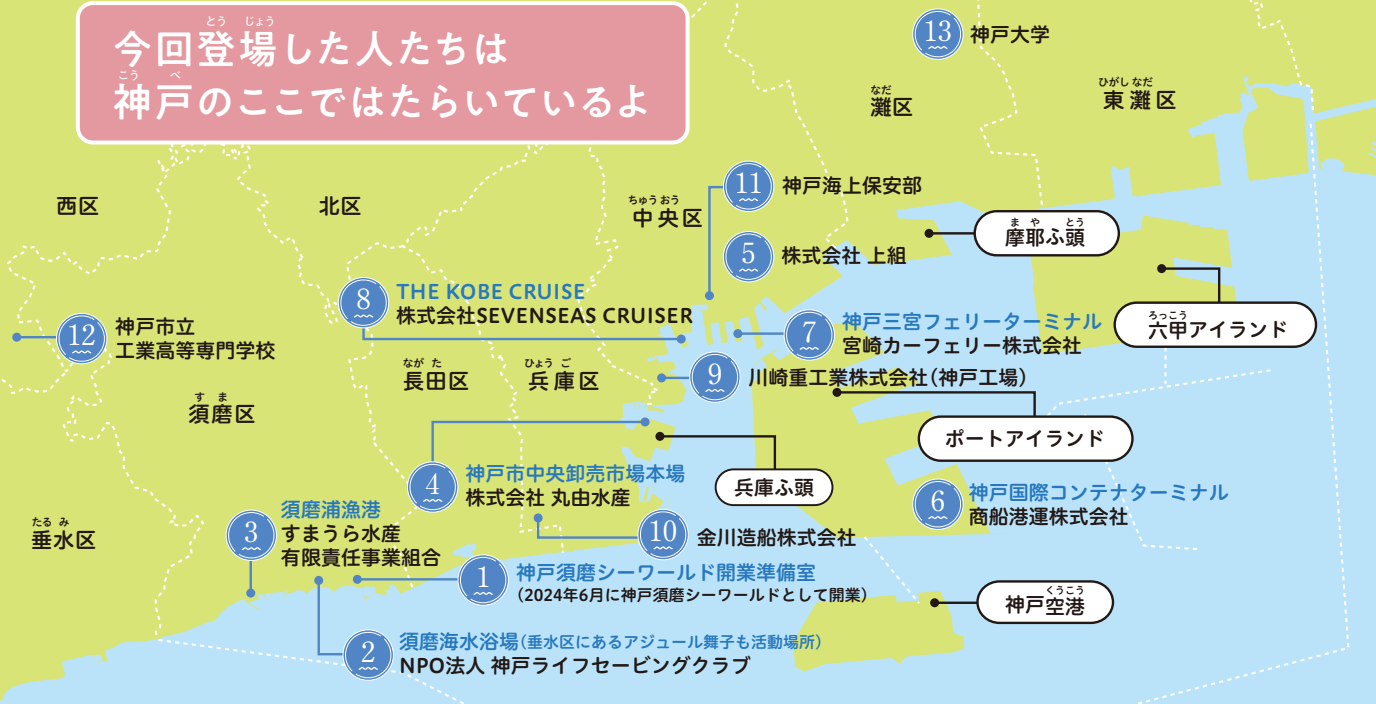
上井先生の
 “海”へのぎもん

- どうしてこんなに生き物がいるのだろう?
- 地球温暖化は海の生き物にどんなえいきょうがあるのだろう?
- 多様な生き物がなぜいっしょに生きているのだろう?



神戸大学
 上井 進也さん

今回登場した人たちは
神戸のここではたらいっているよ



海の仕事を体けんしてみよう

海と港といっしょにはってんしてきた神戸では、海にかかわる仕事を体けんできるいろいろなイベントがおこなわれています。「どんなことをする仕事かな」「もっとくわしく知りたい」。みなさんのきょうみある仕事に、もっと近づいてみませんか。

神戸市が開催する イベントにさんかする

神戸市では、海にかかわる仕事につく人をふやすため、子どもたちに港・海・船のみりよくをつたえる取り組みをおこなっています。



港・船について学ぼう



神戸の海について学ぼう

身近な海の体けんを「こどもわーく」でさがす

自分がからす地いきのお出かけにおすすめの場所を、かんたんにさがせます。海にかんするしせつや場所がたくさんみつかるはずです。

こどもわーく 🔍



親子でお出かけ「いこーよ」



海のお仕事体けん「こどもわーく」

海のお仕事をもっと知ろう

発行元 一般社団法人 地域みらい創造センター
主管 アクトインディ株式会社
特別協力 日本財団 海と日本PROJECT、神戸市

2023年 3月 初版発行
2024年 4月 増補



この冊子のPDF版をホームページで見ることができます。
くわしくは左の二次元コードから



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



学校名

年 組

名前